



学年行事や登下校で子供たちと一緒に歩くと、いろいろな話ができたり、また、聴くことができたり、思いや考え方を知ることができます。

過日、3年生が消防大里分署の見学に出かけました。その行き帰りの道ばたに「コセンダングサ」が群生していました。俗に言う「ひつつき虫」です。写真は、見学10日後の様子で当日はもっとたくさん、よけて歩くのも大変なくらい生えており、みんなの背中や足にくっつき「もうっ!」、「背中を取って、取って」なんて言いながら悪戦苦闘していました。私が「取るの大変だよ。でも、なんでくつつのかな?」と問いかけると、近くに居た数人の表情から頭の中に「?」が浮かんでいるのがわかりました。



私 : 「草って歩けるかな?」

子供たち : 「歩けない」

私 : 「種が生長することは知ってるよね」

「じゃあ、この場所と違うところで花を咲かせるためにはどうするのかな?」

「自分が花や草だったらどうする?」

子供たち : 「・・・」(考え込む)

私 : 「植物は自分で歩くことはできないから、誰かに運んでもらった先で種が落ち、そこで種が生長するんだよ」

「例えば動物の体にくっつくとか、風に運ばれたりとか」

子供たち : 「えー!」「私たちが運んだのかー!」

ちなみに、ひつつき虫と言われる植物は、

「動物の毛や人間の衣服にひっついて散布される種子があります。これらの仲間の種子散布形式は「動物散布」と呼ばれます。これらの植物は、冬になっても種子を散布せず、茎の先端などにつけたまま、動物が通りかかるのを待ちかまえています。残念ながら動物に付着することが出来ない場合には、春になって茎の根元が腐敗することに、ようやく地面に散布されます。

\* 岡山理科大学生物地球学部生物地球学科HPから

ある登校班と一緒に朝、正門まで歩いたら、その班の班長さんが「道ばたに、たくさんたばこの吸い殻が落ちてるね」と、伝えてくれました。

私は、2つの意味ではっとしました。一つ目は、私も同じことを思っていたこと。二つ目は、歩きながらいろんなところを見ているんだ、ということです。

私たち大人は、子供の意見や考えをゆっくり時間をかけて聴いているでしょうか?子供たちは自分が学び経験した範囲ですが、自分の意見や考えを持っています。子供たちと話すことで、大人はたくさんの気づきや学びを得ることができます。

子供たちとたくさん話し、可能性や多様性を引き出し、得意を認め、子供たち自ら夢や希望、願いを語る力、叶える力を育みたいと思います。

## 林間学校 ～5年生の最高の思い出づくり～

10月28日(木)に5年生が林間学校に行ってきました。一度台風の影響で延期になってしまいましたが、今回は天候にも恵まれ秋晴れの下、気持ちの良い気候の中行くことができました。

行きのバスでは、学級会で話し合ったコロナ禍の中でも行えるバスレクを楽しみました。

秩父ミュージックパーク内にあるフォレストアドベンチャーでは、森の中に造られたアスレチックで大自然の豊かさとスリルを味わいました。「キャー!」という絶叫や「楽しい!」という歓喜の声が森の中に響き渡りました。樹木の上に乗って歩き回ったり、ジップラインで爽快に滑ったりして大いに楽しみました。

陶芸体験では、図工の粘土作りとは違う粘土の質感や造形方法に戸惑いながらも、実際に使うカップやお皿などを一生懸命に真剣に作成しました。「難しい」といった声や「楽しい」といった声があちこちから聞こえてきました。出来上がりが今から楽しみです。



みんなで「ハイポーズ」



ドキドキ



せ～ので青春ジャンプ



うまくできているかなあ

## 4年生社会科見学 ～教科書だけでは学べないことを～

11月2日(火)に4年生が社会科見学に行ってきました。

江南清掃センターでは、集められたゴミがどのように焼却されていくのかを説明していただいたり、実際の様子を見せていただいたりしました。クレーンがゴミを持ち上げるところでは「おおー!すごい!」と歓声があがっていました。

県立川の博物館では、アドベンチャーシアターで荒川を下る疑似体験をしてスリルも味わいました。青空の下、昼食もおいしくいただきました。

東秩父村和紙の里では、埼玉県の伝統工芸である紙すき体験を行い、昔から伝わる伝統的な技術を目の当たりにし、体験することもできました。

教科書だけでは学ぶことのできない貴重な体験をすることができました。



巨大水車をバックにハイポーズ



貴重な体験にわくわく

## アルカスタグラグビー教室 ～one for all, all for one～

裏面もあります



11月15日(月)に3・4年生がアルカスタグラグビー教室を行いました。プロの方からわかりやすい指導をしていただきました。